

高砂市中学校部活動地域展開に伴う説明会

高砂市では高砂市地域クラブ推進計画をもとに、中学校部活動から新たな地域クラブの充実を目指しています。各中学校において、小学校4、5、6年生の保護者を対象に説明会を開催しました。

1 実施日

日時	場所	参加人数
令和7年12月11日(木)19:00～	鹿島中学校	67名
令和7年12月12日(金)19:00～	宝殿中学校	103名
令和7年12月15日(月)19:00～	高砂中学校	32名
令和7年12月17日(水)19:00～	荒井中学校	85名
令和7年12月18日(木)19:00～	松陽中学校	55名
令和7年12月19日(金)19:00～	竜山中学校	26名

2 場所 各中学校体育館

3 説明内容

説明	内容
新たな地域クラブ (多種多様な活動)	・学校にない種目の活動 ・経験豊富な指導 ・スポーツ少年団からの継続 ・スポーツクラブ21への参加 ・学童期から行っている活動の継続 ・地域活動の一環としての活動 ・地域の方が運営する新たな活動 ・教員(地域指導者)が行うクラブ
スポーツ庁・文化庁の方針 高砂市の現状と方針	・地域全体で支える地域クラブへ展開 ・少子化の影響による部活動数の減少 ・令和5年度より高砂市部活動地域展開に関する検討委員会にて地域展開の方針や運営体制について協議 (兵庫教育大学院教授、スポーツ協会・文化連盟会長、小中学校代表校長、連合小中学校PTA代表) ・令和7年9月高砂市地域クラブ推進計画策定
地域クラブのメリット (多様なスポーツ・文化活動等が選択) (校区を超えて活動) (生涯にわたってスポーツ・文化活動に親しむ)	・複数の活動の選択 ・趣味やレクリエーション ・豊かで幅広い指導 ・学校等の垣根を超えた仲間 ・地域の様々な人や幅広い世代とのつながり ・地域の活性化 ・中学校卒業後も継続的に活動 ・活動種目の後継者の育成 ・1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツ ・スポーツと文化芸術の融合

地域クラブ募集(R7. 12月現在) (地域クラブ登録予定活動団体)	スポーツ活動 ①サッカー②ソフトボール③陸上競技④ハンドボール ⑤バレーボール⑥軟式野球⑦よさこい⑧バドミントン ⑨スポーツクラブ21高砂⑩空手道⑪沖縄小林流空手・古武道 ⑫合気道⑬スポーツチャンバラ⑭剣道⑮柔道 文化活動 ①演奏連盟②合唱③吹奏楽④野外活動 ※種目の中には、複数の団体の登録がある。 申請団体を審査し、地域クラブへ認定する。現時点では、実施場所、活動曜日や時間は示すことができません。
地域クラブ実証研究(R7. 12月現在)	・サッカー地域クラブ実証研究(実施中) ・ソフトボール地域クラブ実証研究(実施中) ・男女ハンドボール地域クラブ実証研究(実施中) ・野球地域クラブ実証研究予定(1月実施予定) ・よさこいクラブ実証研究予定(1月実施予定) ・陸上競技地域クラブ実証研究(体制整備中) ・バレーボール地域クラブ実証研究予定(体制整備中)
質疑応答	・活動場所への移動について ・地域クラブについて等 ※詳細は以下の通り

4 兵庫教育大学院の森田啓之教授に鹿島中・高砂中・松陽中の説明会にアドバイザーとして参加していただきました。

森田教授から

これまでの部活動で『当たり前』であった、「学校教育として学校単位で活動して先生方が担当する」というやり方は限界にきています。国はこれまでに数回、地域の組織や団体・チームが中学校部活動の受け皿にならないかと模索してきましたが(その一つが地域に総合型スポーツクラブを作ろうという動きで、兵庫県で言うならば、2000 年開始のスポーツクラブ 21 がそれに該当します)、完全な実現には至りませんでした。しかし、止まらない少子化によって現行の学校部活動制度の維持自体が難しくなっていることに加えて、近年の世の中全体(学校教員に限らず)の「働き方改革」がこの度の「部活動を地域に展開する」決断となったことを、まず理解して下さい。

もちろん我々大人が経験してきた昭和時代の活動スタイルには良い側面も多々ありますが、その風景を残そうとして留まるのではなく、新しい制度・やり方を行政(市)とともに創っていく気概を持って、この数年を乗り越えていってくれたらありがたいです。ただ、ここ数年の過渡期においては部活動と地域活動の両方が入り混じるため、関係するすべての人が戸惑いや予想を超える課題や悩みに直面すると思います。市でも県でもできるだけ子どもたちへの悪い影響が大きくならないよう進めていくはずです。

また、子どもたちは部活動という一つのメイン路線がなくなること、多様な道の中で自らどうしたいのか・どれを選択するかを考えていくことになると思います。大人としては、現在のそして未来の子どもたちのために何をしてやれるのか(高砂市としての最善のやり方はどんな姿か)というテーマのもと、保護者さらには市民みんなが一緒になって考えるスタンスで今後の動きを注視しつつ、一人ひとりができることを考えて取り組んでいただけるようお願いいたします。

5 質疑応答

Q1 平日の地域クラブの活動について、活動場所に移動しないといけない場合、自転車や徒歩で行けるような場所で活動ができるのかが心配です。どのようにになりますか？

A1 市内の自転車移動において、最長40分程度かかると想定しています。また、地域指導者が仕事をしている方が多く、17時以降の活動と設定しています。保護者の責任のもと移動手段は、検討をお願いします。

Q2 活動団体が複数存在した場合、その活動場所であったり活動団体だったり自由には選べますか？

A2 活動団体が複数できた時の選択は自由です。

Q3 令和9年度の8月から令和10年度の4月までの間、活動は、どうなりますか？

A3 地域クラブとして活動団体を示していくので、令和9年9月からできるところは展開し、実証事業という形で行っていく予定です。

Q4 地域クラブと習い事のの違いで、登録団体の方に入ることのメリットを聞きたいです。

A4 活動のメリットは、中学生と地域の方が一緒に活動ができ、地域の活性化になると考えます。生徒にとってのメリットは複数選択できることや色々な人と関わりが出てくることがあげられます。高砂市で認定した団体は、中学校体育連盟の大会に参加申出があった場合、参加が認められます。

Q5 部活動において内申点に影響があると言われてますが、登録団体もそういうことがありますか？

Q5 内申点について、部活動をしていることで影響はありません。

Q6 練習場所は、運動部は学校の施設を借りられるということですが、文化部も学校の施設を借りられるのでしょうか？

A6 学校の施設使用は、中学校の体育館、武道場、運動場を優先的に使用の形としています。校舎に関しては、入ってしまうと自由に行き来ができるという状況です。セキュリティ的に難しい状況を抱えています。今後、セキュリティを高めて使用できるよう検討しています。

Q7 令和8年度から新入部員をとらない部活動があると聞いていますが、その話が本当であれば令和8年度から入ってくる新入生は路頭に迷うのではないのでしょうか。2年間は、部活動として面倒を見ていただけののでしょうか？

A7 年度が変わるとどの部活動も必ずあるという保証はありません。部活動は、先生方が必ずしなければならない業務ではありません。学校も顧問をお願いしてやっていただいている状況が続いており、年度が変わったタイミングで募集を停止されることもあります。学校ごとで部活動が違うことの理解をお願いします。

Q8 初心者の子もたくさんいると思います。中学でいろんな部活に1週間仮入部をして体験をして入る子がいたと思います。地域展開になるといろんな場所になり、体験しにくくなるような気がします。中学校と連携して案内はあるのでしょうか？

A8 活動団体に体験会を設けるようにお願いはしています。初心者の方が入れるようにということもお願いしています。案内については、スクリーン、ホームページで知らせたいと思います。

Q9 活動場所まで遠かったら、体験まで行かないと思います。できればその遠くでやっているものも例えば中学校に来て、体験会ですという形にいただいた方が、やりやすいかと思います。そういう風なことを考えていただけないでしょうか？

A9 活動団体へ依頼はしていきます。

Q10 高砂市の生徒が、近隣市町の地域クラブへ参加したい場合は、他の市でも参加できるのですか？高砂市は高砂市内でしか選べないのですか？

A10 高砂市地域クラブの条件としては、高砂市に活動拠点があるということです。活動団体には他市町の生徒が参加しても問題ないと説明しています。他市町の活動は、確認していただき高砂市の生徒も受けていただけるのであれば、活動することに制限はありません。

Q11 平日の地域クラブ開始時刻は、17時からという話ですが、自分のこどもが通っている中学校でやっている地域クラブに入った場合、学校で待機していいのでしょうか。一度、家に帰らないといけないのでしょうか？

A11 待機中、その生徒を見る地域の人に来てない状態ですので、一旦家に帰ってからの活動となります。他校から来る生徒もいるので、移動の安全面も考慮し、17時からという設定をしています。

Q12 こどもが行きたい活動が近くになく遠方になる場合、バスの送迎などがありますか？
仕事をしたら、その時間帯に保護者が送迎するのは難しいです。そういった場合は活動をあきらめるしかないのでしょうか？

A12 移動に関しては、自転車や送迎など保護者の責任のもとお願いしています。
同じ種目の地域クラブが複数できるよう活動団体を確保しようとしています。できない場合もあること
のご理解をお願いします。

Q13 地域クラブができなかった部活動に入っていた場合、途中でやめることになるのでしょうか？

A13 活動できなくなるのが現状です。できるかぎり活動が続けられるように各種団体に働きかけていきます。

Q14 地域クラブ実証事業で平日は各校でやっていると言っていました、部活動が無い学校の生徒は平日はどうしているのでしょうか？

A14 休日だけの地域クラブ実証研究のため、平日は中学校の顧問のもと部活動を行っています。部活動の無い学校の生徒は平日には活動できていません。ただし、サッカーについては、地域クラブが平日も活動しているため、サッカー部のない学校の生徒は、地域クラブとして活動を行っています。

Q15 地域クラブは、こどもたちが中学校体育連盟であるとか、全国大会出るような能力、才能を持った子が出た時にどうなるのでしょうか？中学校体育連盟はどうなるのでしょうか？

A15 中学校体育連盟の参加は、今現在、なくなるということは聞いておりません。種目によっては全国大会を廃止すると決まった種目(ハンドボール、水泳)があります。それ以外は今後どうなるかは分かりませんが、中学校体育連盟が残る限り、地域クラブでも大会の参加が可能となります。

Q16 吹奏楽部は今どうなっていますか？

A16 吹奏楽部について、登録団体の予定はあります。まだ話し合いができていないので、今後、どのように進めていくかは未定です。

Q17 地域クラブになると自転車通学は許可されますか？

A17 一旦家に帰ってからの活動になります。各自で活動場所に行くことになることをご理解をお願いします。

Q18 スクリレで事前にどんな地域クラブができるのか詳しい情報を小学校の方にも流していただきたいです。

A18 高砂市教育ネットワークに、掲載したりスクリレにて発信したりしていきます。

6 問い合わせ

【事務局】

高砂市教育委員会学校教育課・高砂市健康こども部文化スポーツ課

※相談受付時間 午前9時から午後5時(土・日・祝日は除く。)

【住所】〒676-8501 高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号

学校教育課 電話(079)443-9054

文化スポーツ課 電話(079)443-9136

E-mail tact7520@city.takasago.lg.jp

tact7420@city.takasago.lg.jp

